

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	橋りょう長寿命化修繕事業			シート番号	D 建設・整備事業 19-60
担当部署名	建設	局	道路	部	道路整備 課 評価責任者(課長名) 金谷

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	道路法・河川法・港湾法・鉄道営業法			
	4	関連計画	堺市公共施設等総合管理計画、堺市国土強靱化地域計画、堺市橋梁長寿命化修繕計画、堺市橋梁耐震事業計画、堺市道路維持管理計画			
5	事業実施の経緯	本市で管理する749橋の橋りょうのうち、20年後には建設後50年以上となる橋りょうが現在の約2割から約8割へと急速に高齢化が進展する。そこで、本事業は全ての橋りょうを良好な状態で維持するとともに、ライフサイクルコストの縮減ならびに平準化を図ることを目的として、損傷が小さいうちに計画的に補修する予防保全の考えを取り入れた維持管理を行うものである。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	橋りょうを通行する人・車および施設沿道の住民ならびにその財産			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	本事業は、市民の安全・安心を確保するために、本市で管理する全ての橋りょうについて、予防保全型の考えを取り入れた維持管理を計画的に進め、橋を良好な状態で維持するとともに、将来にわたるライフサイクルコストの縮減ならびに平準化を図ることを目的とする。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	本市で管理する全ての橋りょう749橋について、5年に1回のサイクルで定期的に点検を行い、早期に損傷を発見し損傷が進行する前に計画的に補修する「予防保全」の概念を取り入れた維持管理を進めることで、橋を良好な状態に保つ。 年間事業 定期点検 150橋程度 補修設計 20橋程度 補修工事 20橋程度			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 業務並びに工事の受注者、大阪市、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社				

Ⅲ. 投入量

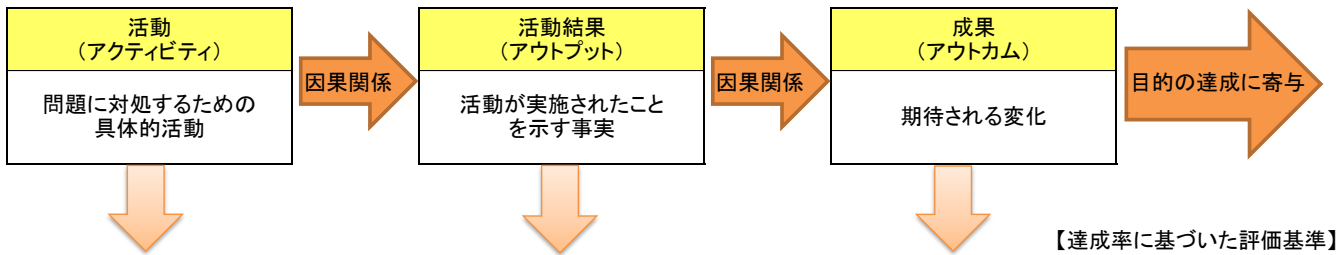
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	1,182,328	1,246,124	1,325,179	2,697,500	
主な事業費内訳	委託料	千円	169,015	154,520	172,740	793,500
	工事請負費	千円	853,683	1,056,353	950,175	1,700,000
	負担金等	千円	159,630	35,251	202,264	204,000
		千円				
	国・府支出金	千円	351,912	400,770	470,965	752,782
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円	641,800	633,500	695,500	1,622,900
	その他(事業者負担金等)	千円	19,055	105,548	60,785	73,000
	一般財源	千円	169,561	106,306	97,929	248,818
12 人件費 (b)	千円	41,000	41,000	41,000	48,600	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,223,328	1,287,124	1,366,179	2,746,100	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	橋りょう長寿命化修繕事業	シート番号	19-60
--------------	--------------	--------------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	平成30年度は、150橋について定期点検を行い、29橋の補修工事を発注し、昨年度からの繰越も含めて19橋の補修工事を完了した。これらの活動の結果、橋を良好な状態に保つことができ、市民の安全・安心の確保につながった。また、次年度以降に補修工事を発注するために必要となる補修設計を21橋完了した。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		橋りょう補修工事発注数	橋	目標値	24	14	31	21
			実績値	24	14	29		
			達成率	100%	100%	94%		
			評価	良い	良い	普通		
			算出方法・設定根拠など	将来にわたるライフサイクルコストの縮減と平準化を図り策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき目標値を設定				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		補修完了率 (計画に対し補修が完了し安全性が向上した橋りょうの割合)	%	目標値	15	29	36	44
			実績値	17	32	30		
達成率			113%	110%	83%			
		評価	良い	良い	普通			
		算出方法・設定根拠など	目標値、実績値：補修完了の橋りょう数/補修が必要な橋りょう数(184橋) ※平成30年度からの目標値は社会資本総合整備計画(変更)で計画した184橋を基に年度毎に目標設定した補修完了数に基づき算定。					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	橋りょう補修工事発注数については、一部の橋について他事業との調整により発注時期を変更したことなどにより、実績値が目標値を下回った。また、平成30年度より歩道橋の補修工事についても整備計画に追記したことにより、補修が必要な橋りょう数が増加したため、補修完了率の実績値が目標値を下回った。 しかし、年間概ね20橋の補修工事を完了しており、計画的に事業を遂行できているとともに、事業にかかるコストも平準化できている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。